



# あんど

令和4年  
(2022年)

11/1



## 補欠選挙後の初議会

### 令和4年 9月定例会

審議案件、議会のうごき .....	P 2
一般質問（6名の議員が一般質問を行いました） .....	P 3～8
委員会報告 .....	P 9～10
次回の定例会予定 .....	P 10

令和4年9月定例会

第3回定例会を9月1日から16日までの16日間で開催しました。

	議案	会議結果
報告第1号	令和4年度一般会計補正予算(第4号)〈専決〉	満場一致承認
議案第1号	安堵町副町長の選任同意	満場一致同意
議案第2号	安堵町教育委員会教育長の任命同意	満場一致同意
議案第3号	安堵町公平委員会委員の選任同意	満場一致同意
議案第4号	安堵町教育委員会委員の任命同意	満場一致同意
議案第5号	安堵町人権擁護委員の推薦	満場一致適任
議案第6号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	満場一致可決
議案第7号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	満場一致可決
議案第8号	安堵町地域福祉基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止	満場一致可決
議案第9号	安堵町公共施設等整備基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定	満場一致可決
議案第10号	安堵町教育・文化振興基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定	満場一致可決
議案第11号	安堵町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正	満場一致可決
議案第12号	令和4年度一般会計補正予算(第5号)	満場一致可決
議案第13号	令和4年度介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)	満場一致可決
議案第14号	国土交通省による大和川直轄河川改修遊水地整備事業における土地代金及び工作物移転に伴う契約の締結	満場一致可決
認定第1号	令和3年度一般会計歳入歳出決算の認定	満場一致認定
認定第2号	令和3年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	満場一致認定
認定第3号	令和3年度下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	満場一致認定
認定第4号	令和3年度介護保険特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算の認定	満場一致認定
認定第5号	令和3年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	満場一致認定
認定第6号	令和3年度水道事業会計決算の認定	満場一致認定
報告第2号	令和3年度決算に係る健全化判断比率報告書	報告
報告第3号	令和3年度決算に係る資金不足比率報告書	報告
議案第15号	安堵町固定資産評価員の選任同意(追加案件)	満場一致同意

議会のつぎへ

10月	9月	8月
12日 全議員研修会	1日 本会議(開会)	1日 全員協議会
6日 第3回広報編集部会	5日 本会議(一般質問)	18日 議案事前説明会
3日 奈良県市議会・町村議会 議長会合同研修会	6日 決算審査特別委員会 (一般会計)	25日 議会運営委員会
27日 第2回広報編集部会	7日 決算審査特別委員会 (特別会計等)	
16日 本会議(閉会)	8日 文教厚生常任委員会	
14日 議会運営委員会	9日 総務産業建設常任委員会	





ますい けいじ  
増井 敬史

なぜ防災・減災対策をして自然災害による人的・財産的被害を軽減させようとするかといえば、私達には守るものがあるからである。  
愛する妻や子や孫、両親、兄弟、自宅や会社等

## 災害に強いまちづくり 南海トラフ大震災発生に備えて 万全の態勢づくりを

人によっては多少の違いがあるが、自分だけでなく大規模地震等の発生に日頃から備えて家族の命と財産を守らなければならぬ。

防災・減災の知識の有無により助かる可能性は歴然と違はずである。

近隣の住民を救助する共助でも、自主防災組織が有るのと無いのでは、被害の程度や人的損害の程度は格段に違はずである。

**問** 自主防災組織の自治会での設立は何件届けられたか。(全12地区)

**答** 自主防災組織4地区5自治会が届け出済。

**問** 町全体での防災講演会は企画されないのか。

**答** 大規模災害時の応急対策は、住民の方々の参加が重要になってくるので、地区毎の身近なところから感染状況を見ながら十分な感染対策のもと、防災講習会を実施している。

**増井** 奈良県防災士会の会報には、防災士会から講師を派遣し、三郷中学校体育館で2年生190名に防災訓練を実施している。

**答** 総務部長 個人が申し込むので、安堵町全体では把握できない。  
役場から5名申し込んでいます。

**問** 今年の奈良県防犯・防災リーダー養成講座の申込者は、安堵町全体で何人いるか。

**答** 総務部長 7大字で16名が届け出されている。

**問** これまでトーク安堵カルチャーセンターなどの災害時の指定避難場所へ避難されてきた住民の方は何人おられたのか。

**答** 総務部長 平成25年から令和4年度現在までの10年間の実績(自主避難を含む)は、延べ192世帯377名(うち自主避難6世帯7名)である。

**問** 内水氾濫(岡崎川の越水による)がこれまで多かったが、自宅の2階に避難する等の垂直避難を推奨されていたように思うが?

**答** 総務部長 災害の危険が有る場合は、原則として立ち退き避難をお願いしている。

**問** 垂直避難は、すでに避難経路が浸水しているなど危険が迫っていて避難行動が無理なときに、近隣の高い建物や自宅の2階といった高い場所へ避難するといった避難方法の一つとして示している。

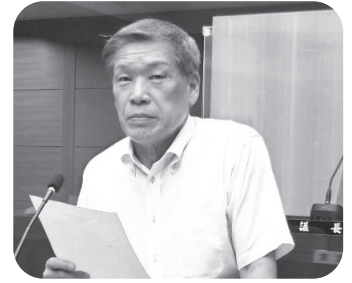
**問** 災害時の指定避難場所への避難行動要支援者を避難誘導する基準は?

**答** 総務部長 町が発令する「高齢者等避難」である。「高齢者等避難」の発令前に、地域で災害を発見し避難が必要であれば、避難誘導等の対応をお願いする。

**増井** 河田恵昭教授は、「避難指示が出て、住民の1%しか逃げないという統計データがいくつもある。正常性バイアスが働いて嫌なことには「起こらない」とにしてしまう。その為死んでしまう。そうならない為に、早めの避難が重要である。」と警告されている。

**問** その他の質問  
・大規模災害発生時の受援体制について  
・職員の電話応対を始めとする接遇訓練について

# ヤングケアラーを地域で守ろう



ふくい やすお  
福井 保夫

## ヤングケアラーについて

**問** 斑鳩町では、ヤングケアラーを支援するためのマニュアルを作成し、2023年1月から運用を目指す。安堵町の対策は。

**答** 住民生活部長 教育委員会・要保護児童対策地域協議会等と連携し、適切なサービスに繋げて支援をしていきたい。

**福井** 精神的な部分で追い込まれないよう、民生児童委員・区長等と連携し、常日頃から注意してもらう。地域で守ってもらう。今後、教育委員会と住民生活部と連携を密にし、他町のいいところも取り入れ、子供達を守ってほしい。安堵町では、高校卒業までの支援もお願いしたい。



## かしの木台農業公園の利用等について

**答** 事業部長 ここ数年は試作していない。さつまいも・とうもろこしを子供達に収穫してもらっている。今年から来年に向け、パパイヤ・アボカド・シャドウクイーンの試作予定。

**福井** 試作も最後にし、今後の方針を決めてほしい。町営の貸農園とか。

## 川西町の取組 若手職員15人の プロジェクトチーム 「川西若手課」について

**問** 平群町も若手職員5人で「未来を考える」プロジェクトチームを設置。若手職員の資質向上のためにも意見の言える、考える場を。

**答** 総務部長 従来から若手職員の政策能力向上を図っている。今後も、若手職員のアイデアを活かし、活躍する職場を目指す。

**福井** 安堵町初の女性副町長。女性目線からのきめ細かい指導をお願いしたい。



## 近隣市町との施設相互利用について

**問** 大和高田市・香芝市・葛城市と北葛城郡4町の7市町で、公共施設の効率的な運用を図ろうと相互利用に関する実証実験を進めることが合意した。安堵町の近隣の動きは。

**答** 総務部長 三郷町と平群町の2町が施設の相互利用している。

**福井** 大和郡山市・天理市・斑鳩町・川西町・三宅町の近隣の範囲での相互利用の検討も必要かと思う。ベテランの西本町長に他の市町に声を掛けてほしい。

## 2022年度全国学力テストについて

**問** 小学6年と中学3年を対象とした全国学力テストの結果、4年ぶりに実施された理科は平均正答率が5割を切った。安堵町の実態は。

**答** 教育次長 全国や奈良県の平均正答率よりやや低い。物理分野に少し開きがあった。今後、学校現場と情報を密にして対応していく。

**福井** 特に理科は、興味をもたず事で大きく変わってくると思う。先生方と話し合レベルアップを。





まつだ まさる  
松田 勝

## 更生保護女性会への活動支援を 社会福祉協議会を窓口に活動を活性化 会員数の確保も重要課題

どのようにして会員数の確保に努めるのか?

**問** 更生保護女性会の活動状況を把握されているか。

**答** 住民生活部長 更生保護制度の啓発活動、募金活動、さらに更生保護施設で作成された物品の販売活動協力などに取り組んでいた。

**問** 安堵町更生保護女性会の会員数の推移はどのような状況か。

**答** 住民生活部長 更生保護女性会は生駒郡地区として組織されており、会員数は155名となっている。その内安堵町は13名となっている。

**問** 更生保護女性会の活動を活性化させるためには、会員数の確保が重要な課題となるが、どのよ

うな対策を考えておられるか。

**答** 住民生活部長 会員の皆様と一緒に研修を受けてもらうなど、宣伝活動に努めていく。



社会福祉協議会と連携し、活動強化を目指す

**問** 現在安堵町更生保護女性会の皆様は、どのような活動をすべきか模索しながら頑張っておられる。会員の皆様の努力だけでは活動の継続が困難な状況となってきた。是非、安堵町

として相談窓口を設置していただき、初期の目的が達成出来るよう協力すべきと考えるが、如何か。

**答** 住民生活部長 社会福祉協議会を相談窓口とし、活動強化に努めていくこととする。

## 県道安堵南北線の安全対策はいかに?

### ローソン横の横断歩道設置を再要望 歩道の自転車通行も危険がいっぱい

横断歩道設置は  
緊急の課題

が多いにも関わらず、横断歩道が設置されていないことから、県と協議を行っており、今後も引き続き要望していく。

南北線に入る自動車と接触寸前の状況が見受けられる。早めの安全対策を要望する。

**答** 道路管理者である奈良県に安全対策を講じるよう要望する。

歩道の自転車は  
通行規制が必要

**問** 南北線は歩道が広いにもかかわらず、自転車の通行が多くなっている。協道から





# 通学路の改善について —安全安心な通学路を—

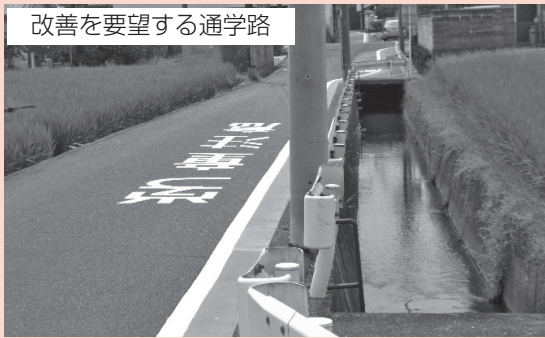


もりた ひろやす  
森田 裕康

**問** 私が西和警察署安堵駐在所（現安堵交番）在勤中は、危険な通学路を見守り隊、安全協会安堵分会のボランティアの意見を参考に、行政及び警察で点検を実施していた。私が一番危険と感じ要望してきたが、いまだに改善されていない場所がある。それは安堵交番から北に100メートルくらいの、交番と下池の間の町道である。

この場所は、町内の通学路の中でも児童・生徒が一番多く利用しており、道幅は3・6メートル、その西側には、幅2メートル、深さ1・3メートルの水路となっている。水路と道路の間には、ガードレールが設置されているが、西側の田んぼへの2か所の橋（幅2メートル）はガードレールが切れている。水路は通常時だと水深は10センチメートルくらいだが、雨量が増えたと下池から多量の水が放流されて流れ

現在財政再建を実施している中で、お金のいることだが、不幸な事故が



が速くなり非常に危険な状態となる。

現在までは児童・生徒が水路に流される事故は発生していないが、帽子や傘が流されたことがあり、発生は予想される。

全国的に通学路の点検は行われているが、事故が起きてからの対応が大半である。

現在異常気象で多量の降雨が、いつ起きても不思議ではない。

発生する前に、水路に蓋をするなどの安全対策ができないか伺う。

**答 教育次長** 安堵交番から北にかけての道路は、道幅も狭く、また幅・深さもある水路もあり危険であることは、通学路点検でも指摘を受けている箇所の一つであること承知している。そのため対策として、白線とグリーンベルトの塗り替えや道路と用水路の境界に視界誘導標識を設置するなどの安全対策を講じている。議員仰せの水路に蓋をしての安全対策については、地元水利組合が協力していただけの姿勢とのことなので、子どもの安全上好ましい事なので、再度地元の方々に協力依頼をさせていただきたいと考えている。また、今年度に於いても通学路点検を関係機関の協力を得て、10月に実施し、点検の結果については、奈良県通学路等安全対策推進会議及び安堵町通学路安全推進会議の方々のご意見を

聞きながら対策を検討してまいりたい。

**問** これまでは、町の職員からできない理由しか答えてもらっていないから。だから先に水利組合の方々とお話しして協力をお願いしていた。今後実現に向けて努力していただけると期待してよろしいか。

**答** 当然通学路点検で指摘のあった箇所は、時期等は明確に申し上げることはできないが、児童生徒の安全確保のため前向きに努力をしていきたい。

**森田** 一日も早く改善をお願いする。町長がめざしている「安全安心なまちづくり」のためにも成果が見える、通学路点検を実施していただくことをお願いして私の質問を終わる。

# 西本町政4期目の 具体的施策は？

**問①** 安堵町の知名度向上に向けた施策は？

**答** 総務部長 令和4年度から、前計画を引き継ぎ発展させるため『小さくてもキラリ光る 活力あふれるまち あんど』を将来像として「第5次安堵町総合計画・第2期総合戦略」を令和4年3月策定。これまで安堵町文化観光館「四弁花」及び観光駐車場の整備、文化財の案内板の設置を進め、歴史・文化観光ゾーンの充実を図ってきた。



あさの つとむ  
浅野 勉

また、「灯芯保存会」「安堵町観光ボランティアの会」主催の体験会・歴史探訪等も広く普及・開催する。

今後は、デジタル技術の導入も検討し、従前の情報をより付加価値を高めたものにするように努める。



**問** 我が国の歴史文化の発展に大活躍された本町出身の、今村勤三氏や富本憲吉氏関連の特別展は継続開催されるか。

**答** 今後とも、イベント開催を継続する。

**問** 特に「11月4日は、奈良県独立の日」を安堵町の記念日として、発信できるか？

**答** 今後も発信をしていく。

**問②** 情報交流人口の拡大に向けた施策は？

**答** 情報化社会が進んでいく。周辺自治体の事例も参考に、取組を進める。

**問** 「えーまち安堵安心メール」の情報は安心につながっているが、更に、町内のイベント情報等の発信も増やすことは可能か。

**答** 今後、発信する情報内容等も検討する。



**問③** 交流人口の増加に向けた施策は？

**答** 現在、本町の定住人口が減少傾向にある。数年内に企業立地が進み昼間人口増加が見込まれる。商工の発展に合わせた人口増が期待される。

**問④** 定住人口増加に向けた施策は？

**答** 安堵町の魅力を発信し、県とも連携しながら定住促進に努める。

**問** 周辺地域との交流や情報交換が更に必要と考えますがいかがか。

**答** 今後は、周辺地域と合同・協働の事業も更に必要と考える。

**問⑤** 「タウンプライド（誇り・愛着）」についての施策は？

**答** 本町の伝統文化や美しい自然景観、また地域資源を次代に伝え「我が町に生まれて良かった。住んで良かった。」と感じてもらえるような、まちづくりを推進するため、住民の皆様方の意向を大切にしながら努めていく。

**問⑥** 協働人口の確保及び拡大についての施策は？

**答** まちの発展には、協働していただける方々の確保が不可欠である。



まずは、町内各地域においてコミュニティの強化を図っていただき、住民一人一人がまちづくりに参加できるよう、住民の主體的な活動を拡充し、住民の意識の高揚を図る必要があると考える。

今後も検討を行っていく。



地域の盆踊り風景



こんどう こういち  
近藤 晃一

## 大規模災害の対応について —避難所・ライフラインの確保— —災害支援協定—

### 大規模災害発生時の対応について

**問** 南海トラフ地震は今後30年以内に発生する確率が高いといわれ、発生すると建物の倒壊やライフ

ラインの寸断等の被害が出ると思われる。このような大規模災害発生時の避難場所、ライフラインの確保等について伺う。

**答** 総務部長 災害発生時は、「安堵町地域防災計画」、

「安堵町業務継続計画」及び策定予定の「安堵町受援計画」に基づき対応する。避難所については、「安堵町避難所運営マニュアル」に従い避難所を開設する。医療救急・救護所等については、県・医療機関と連携協力、ライフラインは、「地域防災計画」に基づき、上水道は、災害状況により復旧措置をし、断水に至る場合には給水車による運搬給水のほかに、備蓄品や協定による物資供給により給水対応を行う。電気、ガス及び電話は、各事業者、各関係機関と連携協力し応急対策に努める。避難所の電気は、発電機及び投光器並びに自動車会社との協定による給電可能車両の貸与を受け対応していく。

**問** 町の広報紙に自主避難場所として、各公民館・自治会館が載っているが、各施設とも、未耐震や劣化がみられる。避難場所として広報に記載する以上、その対策について伺う。

**答** 総務部長 指定避難場所として地域の公民館を多く指定しているが、これらについては平常時にも使用されることから、宝くじの社会貢献広報事業として一般財団法人の自治総合センターの「コミュニティ助成事業」の活用や、「災害関連業務委託金」として毎年出している補助金を活用いただく等で対応をお願いする。

**近藤** 宝くじの「コミュニティ助成事業」助成金は申請が沢山あり難しいと思われる。町民の安全と安心を守るためにも、町として耐震工事等に助成金を考えいただきたい。また「地域防災計画」も、混乱の中、「地

域防災計画」を実施するのは非常に困難な事と思う。訓練を重ね計画通り実施できるような努力をしたい。



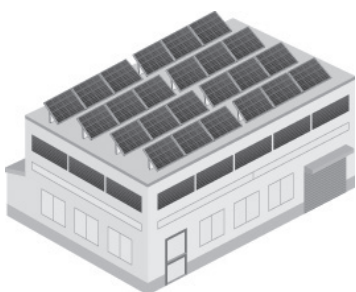
### 災害時の支援協定について

**問** 安堵町に建設中の大型物流倉庫は施設の堅牢性、非常時にも車両がアクセスしやすいランプウェイ、事業継続性（BCP）を考慮した設備・仕様と考えられる。特に、屋上には太陽光パネルが敷き詰められ大きな発電能力があり、災害時にいち早く自家発電での電力が利用できると思われる。災害時に必要なものが全て揃った施設との災害時の避難所としての契約、電気の供給源等としての

災害時の支援協定を締結する計画はあるのか。

**答** 総務部長 安堵町内で鉄骨造4階建ての大型物流倉庫が建設をされており、地震や水害にも強く、設備・仕様も十分な建物と認識している。避難場所だけでなく、電気の供給を含めた、その他の支援ができないかを相手側と協議していきたい。

**近藤** 出来るだけ早い時点で災害時の避難所・電気の供給減としての協定を締結願いたい。このような物流倉庫との支援協定は他県でも事例があるので視察等で実態確認して締結に向け努力いただきたい。





委員会報告

総務産業建設常任委員会

委員長 大星成司

本会議で付託された議案の審査等のために、総務産業建設常任委員会を9月9日に開催した。

〔報告概要〕

○議案第9号 安堵町公共施設等整備基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について

〔全会一致可決〕

積立は、年度ごとの余剰金により決まる。道路整備などの予算化は計画的にするが、臨時的や緊急時にこの基金を活用する。

採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決した。

○議案第12号 令和4年度安堵町一般会計補正予算(補正第5号)について

〔全会一致可決〕

採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決した。

○議案第14号 国土交通省による大和川直轄河川改修遊水地整備事業における土地代金及び工作物移転に伴う契約の締結について

〔全会一致可決〕

詳しい地番や面積などの資料の提示を求め、詳しく説明を受けた。大和川堤防の道路拡幅や高さ制限の改善と、遊水地の利活用についても、安堵町民のためになるよう、引き続き国との交渉を要望した。

採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決した。

文教厚生常任委員会

委員長 松田勝

9月8日、文教厚生常任委員会を開催した。

〔報告概要〕

○議案第8号 安堵町地域福祉基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例の制定について

〔全会一致可決〕

担当課長から基金の残金は6580万円であるとの補足説明があり、採決の結果、

全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決した。

○議案第10号 安堵町教育・文化振興基金の設置、管理及び処分に関する条例について

〔全会一致可決〕

採決の結果、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決した。

一般会計決算審査特別委員会

委員長 大星成司

付託案件

○認定第1号 令和3年度安堵町一般会計歳入歳出決算の認定について

〔全会一致認定〕

○一般会計歳入決算の主なもの

町税全体では、約782

7万1000円(△9.9%)の減少となり、地方

交付税は、大幅な増加となった。

○一般会計歳出決算の主なもの

・歳入総額 39億268万6294円

・歳出総額 36億2487万3097円

・繰越明許費繰越額 2376万3000円

・実質収支額 2億5405万197円

・単年度収支 1億751万8503円

①人事関係…新型コロナウィルスワクチン接種に伴う会計年度任用職員の増加。

②委託等…衆議院議員選挙執行経費、固定資産評価業務委託、町指定ごみ袋作成委託、道路台帳見直し委託、被災者支援システム導入委託等の経費。

③給付金…新型コロナウィルス感染症に伴う子育て世帯への臨時給付金、住民税非課税世帯等特別給付金等による増加。

④負担金…広域消防組合やまほろば環境衛生組合への負担金。

その他、前年度の各種事業の完了により決算額は大幅な減少となった。

・実質単年度収支 2億592万3070円

令和3年度決算は、単年度収支、実質単年度収支ともに黒字、また、経常収支比率は前年度より2.4%改善され93.4%となった。これらの要因は、公有地売り払い収入、普通交付税の増加、新型コロナウィルス感染症対応地方交付金の有効活用によるものである。

地方税は大きく減少し、今後の一般財源の確保が不透明な中、持続可能なまちづくり、行政サービスを提供するためには、引き続き、経常的経費の削減や臨時的事業の見直しを進めていくと説明があった。

採決の結果、委員全員の賛成で原案どおり認定すべきものと決した。

特別会計等決算審査  
特別委員会

委員長 増井敬史

9月7日に特別会計等決算審査特別委員会を開催し、慎重に審議した結果、令和3年度4特別会計及び1企業会計決算を原案どおり認定すべきものと決した。

〔全会一致認定〕

〔報告概要〕

○国民健康保険特別会計

・歳入総額

10億2502万3834円

・歳出総額

10億3216万5811円

・実質収支額

△714万1977円

令和6年の県統一化に向け、累積赤字の解消を図るとともに、不納欠損146件424万円の改善に努めるよう要望した。

○下水道事業特別会計

・歳入総額

2億5723万7312円

・歳出総額

2億5723万7312円

・実質収支額

0円

今年度は改良住宅の下水道接続工事が8件実施され、計画的に水洗化されていることを確認した。

○介護保険特別会計(保険事業)

・歳入総額

7億4996万3296円

・歳出総額

7億3993万3709円

・実質収支額

1002万9587円

○後期高齢者医療特別会計

・歳入総額

1億1011万6343円

・歳出総額

1億968万5143円

・実質収支額

43万1200円

○水道事業

〔収益的収入・支出〕

・収益的収入

1億8911万7929円

・収益的支出

1億6436万9161円

・収支差引額

2474万8768円

〔資本的収入・支出〕

・資本的収入

0円

・資本的支出

3586万9575円

・収支差引額

△3586万9575円

常任委員会の構成

9月の定例会で、次のとおり委員を決定した。

総務産業建設常任委員会

委員長

副委員長

委員

大星成司

増井敬史

松田勝、近藤晃一、山岡敏、福井保夫、森田裕康、浅野勉、森田瞳

文教厚生常任委員会

委員長

副委員長

委員

松田勝

浅野勉

増井敬史、近藤晃一、山岡敏、福井保夫、森田裕康、森田瞳、大星成司



議会を傍聴しよう!!

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本会議・委員会等を傍聴される方は、次の項目について、ご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。

- ・入場時に手指の消毒を行ってください
- ・室内ではマスクの着用など咳エチケットの励行に努めてください
- ・37.5度以上の熱、強いだるさ、息苦しさがある場合は、傍聴をご遠慮願います

次回の定例会(予定)

- 11月11日 議案事前説明会
- 17日 議会運営委員会
- 29日 第4回定例会  
本会議(開会)
- 12月2日 本会議(一般質問)
- 5日 総務産業建設常任委員会
- 6日 文教厚生常任委員会
- 9日 議会運営委員会
- 12日 本会議(閉会)